

3. 阿多野用水の管理と運営

現在、阿多野用水は、小山町内 40 の自治組織の一つである阿多野区の事業として管理されており、阿多野区に設置された水路委員会の委員が施設の修繕計画や外部からの要望などに対応しています。また、通常の維持管理は阿多野地区に在住する住民で行っています。過去に大規模な災害復旧作業などがあった際は、阿多野用水の受益者全体に協力を要請し、復旧を行いました。現在、有事の際に阿多野用水を守るために、阿多野用水の水利権を持つ 18 戸のうち、男性世帯主がいる 16 戸が、大雨・台風などによる増水が懸念される際に、阿多野用水池にある水門を開閉し、農地への被害を予防しています。

4. 生活に活かされている阿多野用水

阿多野用水の受益者が持つ水利権は、「水稻」、「水掛け菜（水菜）」、「生活」の 3 種類があります。

水掛け菜（水菜）は、明治時代に阿多野に伝来したとされ、現在は阿多野を代表する特産品です。阿多野は外気温が -4 、 -5°C の日であっても、阿多野用水の水温が 13°C 程度に保たれているため、農地の凍土や霜柱を防ぐことができます。また、阿多野は湧水地点から 1 km 以上離れているにもかかわらず、阿多野用水の隧道内を多量の水が通ることによって水温の低下が抑えられたため、水掛け菜（水菜）の栽培適地となることができました。また、阿多野では今でも各戸の農地と住宅脇まで阿多野用水の水路が引かれ、生活で必要となる水を賄っていました。中には水車が設置されていた家庭もありました。



阿多野用水の堰



水掛け菜（水菜）栽培の様子



水掛け菜（水菜）

5. 阿多野の誇り「阿多野用水」

阿多野用水は、寛文 10 年（1670）に造られて以来、江戸時代には元禄の大地震と宝永の砂降り、大正時代には関東大震災、平成 22 年（2010）には台風 9 号など、度重なる自然災害の被害を受けてきましたが、その度に修繕され、大切に受け継がれてきました。用水を適切に維持するための改修工事が実施され、現在は日常的な点検や、有事の際の対応など、維持管理体制が構築されています。阿多野用水は、阿多野原での水稻栽培を可能にし、現在は阿多野の特産品である水掛け菜（水菜）の栽培を支えています。阿多野用水は、現在までの約 350 年間、阿多野に住む人々の生活と生業に必要不可欠な用水にほかなりません。今日まで阿多野用水が存続し続けた背景には、阿多野の地に用水路を作ろうと決意し、実行した喜多善左衛門と池谷市左衛門に劣らぬ熱意で、阿多野用水を守り伝えた阿多野の住民、および小山町民の並々ならぬ努力があります。阿多野用水は、農業に関する小山町の歴史を今に伝える、貴重なかんがい施設です。

阿多野用水文化財調査報告書【概要版】

編集・発行 小山町教育委員会 生涯学習課

〒410-1321 静岡県駿東郡小山町阿多野 130

電話 0550-76-5722 FAX 0550-76-5724